



診療科の概要

青森市の泌尿器疾患は県立中央病院と鷹揚郷青森病院、そして青森市民病院の3施設でそれぞれの特色を活かした診療を行っております。

当院では従来通りの開放手術、感染症治療、内視鏡的結石治療が診療可能です。最近では悪性腫瘍の化学療法や放射線療法が増加しているのが特色です。現在は泌尿器科専門医3名で診療にあたっておりますが、それぞれが多施設で様々な臨床経験を得ており、当施設で対応できる疾患に関しては十分に診療可能です。また、紹介患者さんの情報はできる限りフィードバックさせていただき、医療連携が充実するように努力して参ります。

～医師のご紹介～

部長 ^{よしかわ かずあき} 吉川 和暁

資格

- 日本専門医機構認定 泌尿器科専門医
- 日本泌尿器科学会認定 指導医
- 難病指定医
- 身体障害者福祉法第15条第1項指定医
- 臨床研修指導医
- 医学博士

専門分野

泌尿器科一般

部長 ^{すずき ゆういちろう} 鈴木 裕一朗

資格

- 日本専門医機構認定 泌尿器科専門医
- 日本泌尿器科学会認定 指導医
- 難病指定医
- 臨床研修指導医
- 医学博士

専門分野

泌尿器科一般

医師 ^{たざわ しゅんすけ} 田澤 駿介

専門分野

泌尿器科一般

外来診療担当医師

	月	火	水	木	金
午前 8:00～11:30	吉川 鈴木 田澤	吉川 鈴木 田澤	吉川 鈴木 田澤	吉川 鈴木 田澤	吉川 鈴木 田澤

日々の診療について

午前8時30分から外来診療を行っております。1～2名は病棟回診後に外来診療に加わるため3診となるのは10時頃からです。一般外来受付は月、金曜が11時30分まで、火、水、木曜が10時30分までとなっています。再診患者は、原則的に月曜から金曜までの予約制をとっています。令和5年度から毎週金曜日に野辺地病院への診療応援を実施しています。

手術は月(隔週)、火(隔週)、水、木曜の午後に行っており、火曜は午前から行うこともありその場合は火曜が休診となります。月(隔週)、火(隔週)、金曜の午後は、主にレントゲン透視室などで検査等を行っております。



ご連絡はこちらへ
(地域医療連携室)

☎ 017-734-2171 (内線7124・5110)



017-734-2177

a-shimin-renkei@aomori-city-hospital.jp

速やかな治療導入を心掛けています!!



経尿道的膀胱腫瘍切除術 (TURBT)

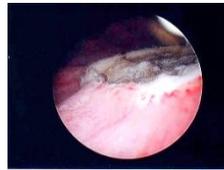


▲TURBT術中の様子

当科の非浸潤性膀胱癌手術は年間100件程度です。初期の段階で根治を目指すことはとても重要で、初回の経尿道的膀胱腫瘍切除術(TURBT)の病理結果によっては2nd TURBTも行っています。



▲術前



▲術後

膀胱癌は手術後1年間で40%程の再発率を認めるため、術後の経過観察が重要です。定期的に尿細胞診と膀胱鏡施行により、再発の有無をチェックしております。

令和6年度手術例	件数(件)
経尿道的膀胱腫瘍切除術	98
陰嚢水腫・停留精巣手術	21
TUL・TUVL	4
経尿道的前立腺切除術(WAVE含)	14
腎・腎盂尿管悪性腫瘍手術	10
精巣悪性腫瘍手術	3
包茎手術	6
尿道脱・カルンクル手術	1
膀胱全摘術	3
副腎手術	0
腎瘻・膀胱瘻造設・尿管ステント留置	178
その他	21

一方で浸潤性膀胱癌は基本的には膀胱全摘を検討いたします。合併症やご本人・ご家族の意向で膀胱温存を希望される場合は放射線療法を選択する場合があります。いずれの選択においても化学療法の併用が推奨されます。

根治を望めない転移性の膀胱癌は、化学療法以外にも免疫チェックポイント阻害薬やペドチンの登場によりさらなる治療効果の改善が期待されます。

令和6年度実績

外来患者数	新患	446人		入院延患者数	5,380人				
	再来	10,705人							
入院疾患名(重要な疾患名を適宜)と症例数									
膀胱癌	138	腎盂尿管癌	35	腎癌	14	前立腺癌	101	前立腺肥大症	15
精巣腫瘍	11	尿路性器感染症・ 尿路結石症	64	陰嚢水腫・ 停留精巣	13	尿道狹窄・ 尿道損傷	5	その他	66

青森市民病院 院長 豊木 嘉一
〒030-0821 青森市勝田1丁目14-20
☎ 017-734-2171 (代表)